

会津駒ヶ岳 4月 11 日

メンバー : 勅使河原、迫

日時 : 2009/04/11

タイム : 6:00 宇都宮発 → 8:45 会津駒ヶ岳登山口、出発 → 10:30 ヘリポート → 13:45 頂上到着 → 14:15 滑降開始 → 16:30 登山口

宇都宮をゆっくりめに出発。天気が良いので、楽しい山行になりそうだ。

登山口から雪があるので、早速スキーを履き登山を開始する。でも、すぐに一箇所、雪が切れていた。先が思いやられる。

登山道から離れ、沢を詰めて尾根に出る。その尾根を少し登ると、クレバスが開いている。その縁を渡ろうと思ったら、中にスキーが滑っていき地面に刺さる。

(下の写真はスキーが刺さった状態)



スキーを地面に刺した状態より無事に復帰して、ヘリポートに到着。まずは、一本取る

ことにする。雪が締まっているおかげで、なかなか良いペースで登れる。その後は、燧ヶ岳が見えるところと、森林限界を過ぎたところで休憩しただけで頂上までいってしまった。なかなかの良いペースでした。

頂上では、ゆっくり休みを取り、記念撮影などをする。



頂上より源六郎沢に滑り込む。広大なバーンに雄大なシュプールを描きたいのだが、慣れていないので、こじんまりとしたシュプールになる。せっかくの広いバーンがもったいない。でも、そんな事は関係なく、楽しい・気持ちいい。



沢に入り、狭くなってきたので、トラバースに移る。しかし、これがチョット失敗。トラバースして尾根に戻ったときには、かなり標高が下がっていた。苦労の割に、実入りが少ない感じだった。ここは教わったとおりに、登り返すのが良い。

尾根沿いに滑り降り、時間もあるのでヘリポートで休憩。しばらくの間、眺めをたのむ。

十分に休んだ後、再び滑りを楽しみ。ぶじ、下山。天気もよく楽しい一日でした。